

「新生シリコンアイランド九州へ向けた 組織と技術のマネジメント」

日時：11/9(木) 13:30～17:15 (受付 13:00～)

会場：NTTDATA博多駅前ビル or ZOOM (ハイブリッド方式)

PM学会九州支部は、2003年の設立から九州地域の研究者や企業が実際に活用できるテーマを選んで活動してきました。活動内容はIT系に留まらず、工場や建築関係など、あらゆる産業を対象にプロジェクトマネジメントの研究と実践を行っています。

皆様ご存じの通り、TSMCの熊本への展開に代表されるように、九州はシリコンアイランドとして再び脚光を浴びております。特に熊本では、この機会を最大限に活かすために産官学の多くの方々が多様な取組みを実施されています。そこで設立20周年の記念シンポジウムを開催し、3名の講師をお招きして、行政、ビジネス、教育の幅広い観点からご講演頂きます。

アジェンダ：

13:00-13:30	受付		
13:30-13:40	開会	九州支部 支部長	片峯 恵一 氏
13:40-14:00	本部役員挨拶	PM学会 会長	関 哲朗 氏
14:00-14:45	講演1「シリコンアイランド九州の復活」		
	熊本県産業振興 顧問		今村 徹 氏
	(休憩)		
15:00-15:45	講演2「半導体の光と影と癖 - 半導体産業を理解するための複層的視点 -」		
	九州工業大学大学院 情報工学研究院 教授		温 暁青 氏
	(休憩)		
16:00-16:45	講演3「熊本大学における半導体人材育成の取り組み」		
	熊本大学半導体・デジタル研究教育機構半導体部門 卓越教授		青柳 昌宏 氏
16:45-17:05	支部活動報告	九州支部 副支部長	日下部 茂 氏
17:05-17:15	閉会	九州支部 副支部長	足立 國功 氏
18:00-	懇親会 (現地希望者のみ、会費は4,000円程度を予定)		

参加費：1)会員無料、2)法人会員は一口当たり3名まで無料、3)非会員1,000円

申込み：(会場参加・ZOOM参加共に、また会員・非会員共に)

- ・ <https://www.spm.or.jp/event/kyushu20231109>
- ・ 申込み締切：1)会場参加希望者=11/1(水)、2)ZOOM参加希望者=11/6(月)
- ・ 姓名・メールアドレス・会員番号(会員のみのみ)の入力が必要となります。
- ・ 会場参加ご希望者が最大数を超えた場合、後日調整させて頂くことがあります。

会場：NTTDATA博多駅前ビル 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-17-21

- ・ 入出時に、次の物は提出書類が必要となります。(当日、その場で申告ください)
パソコン,カメラ,CD,MO,HDD,USBメモリ,その他外部記憶装置

ZOOM：接続URLは申込みされた方に、開催日2日前(11/7)までにメールします。

懇親会：参加希望者は、申込みページの備考欄に「懇親会参加希望」と記載ください。

PDU：最大2.5PDU(予定)。PDU取得のための受講証明書は申込みされた方に後日送付します。

講演要旨

講演 1 :

「シリコンアイランド九州の復活」
熊本県産業振興 顧問 今村 徹 氏

1960年代後半に大手の半導体工場が立地して以降、熊本を中心とした九州は半導体関連企業の進出が続き、半導体産業の一大集積地として発展して来た。1980年代後半に日本の半導体が世界を席卷する頃には、九州がシリコンアイランドと呼ばれるまでに成長したが、その後日米半導体摩擦が起き、シェア低下を余儀なくされた。

しかし、ここにきて世界最大のファウンダリーであるTSMC（台湾積体回路製造）の熊本進出を契機として、復活の兆しが見え始めている。本講演では、九州・熊本における半導体産業の現状、TSMC進出の背景と波及効果やインパクト、地域における対応策、シリコンアイランドの未来予想などについて述べる。

講演 2 :

「半導体の光と影と癖 - 半導体産業を理解するための複層的視点 -」
九州工業大学大学院情報工学研究院 教授 温 暁青 氏

半導体は、情報化社会の基盤・先端産業のコメという「光」、5大リスク（出荷品質不足、経年劣化、ソフトウェア、悪意ある攻撃、ニセ物混入）という「影」、高集積化→微細化→高コスト化の益々加速するサイクロンという「癖」を有している。本講演では、このような複層的視点から半導体産業の本質的な理解を試みるほか、米国シリコンバレーの半導体設計EDAベンチャーでの勤務経験などを踏まえ、半導体グローバル大競争に勝つための鍵について私見を述べる。

講演 3 :

「熊本大学における半導体人材育成の取り組み」
熊本大学半導体・デジタル研究教育機構半導体部門 卓越教授 青柳 昌宏 氏

2021年にTSMCの先端ファウンドリを熊本へ誘致することが決まり、半導体分野における人材不足への懸念が広がっている。

本講演では、熊本だけでなく、九州地域全体における半導体分野の活性化を目指して、2022年から準備を開始した熊本大学における半導体分野における専門教育プログラムの新設、高専との教育連携の強化、企業との研究開発における産学官連携体制の構築などについて、紹介する。